

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



まず始めたいこと

教育支援課 丹羽 伸也

また新しい年度がスタートしました。異動等でスタッフが一新したそれぞれの部署で、「今年こそは」との思いを持たれた方は多いと思います。しかし私たちは決して一人で仕事をしている訳ではなく、多くの人々が連携、協力して物事や仕事は進められています。

学校はもちろんのこと、企業も行政も、そして広い意味では子どもたちの学級も、すべて「組織」であると言えます。

「組織」を大辞林で調べてみると、「特定の目的を達成するために、諸個人および諸集団に専門分化された役割を与え、その活動を統合・調整する仕組み。」と記されています。

それぞれのメンバーが自分の専門性や能力を発揮し、目的達成

に向けて一丸となつて取り組める良い組織をつくることは、一つの理想です。

そうしたことを考えるたびに思い出すのが、指導主事の先進校視察で訪問した小学校の校長先生の、「学校は、そこで働くすべての職員にとつて、楽しくやりがいのある場所でなくてはいけない。」との言葉です。「職員が楽しく仕事をしていないのに、子どもたちは楽しく学校生活を送ることはできない。」とも話されました。その楽しさはもちろん快樂的なものではなく、生き活きと充実した気持ちで仕事に取り組みこととであり、そこには互いに慮る人間関係が不可欠であると言えます。また、自分らしさを発揮できる温かい雰囲気のある組織であることも大切です。そうした雰囲気を

醸成するために、一人ひとりが気持ちよく挨拶を交わし、会話をし、楽しく物事や仕事を進めていくことから始めたいものです。

一つの組織内でそれがうまくいったら、ほかの組織との関わりについても、同じ気持ちで進められると良いのではないのでしょうか。繰り返しますが、学校だけでなく子どもたちの学級も「組織」です。





平成27年度 重点事業

教育支援課 研修・研究グループ

本市の学校教育ビジョンに基づき、今日的な教育課題に対応した研修を実施し、教職員の専門性と実践的指導力を高めるとともに、幅広い視野を備えた教職員の育成および資質・能力の向上を目指します。

1

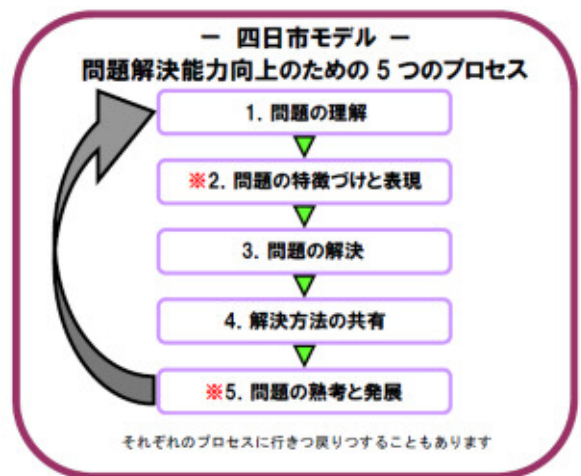
ライフステージに応じた教職員の資質・能力の向上をはかります

- ① 「四日市市学校・園教職員 自己相互研鑽のために」を用いて自己分析し、自分のライフステージに応じた身につけるべき具体的な教師力を自覚することで研修への目的意識を持ち、自己相互研鑽を効果的にすすめます。
- ② 受講対象者や研修のねらいを明確にし、教育課題や受講者のニーズに応じたより実践的な教職員研修講座を実施することで、一人一人の教師力の向上をはかります。
- ③ 若手教員研修をより一層進めるとともに、ミドルリーダー教員研修、ベテラン教員研修を実施します。

2

「問題解決能力向上のための5つのプロセス～四日市モデル～」を活用した授業づくりをすすめます

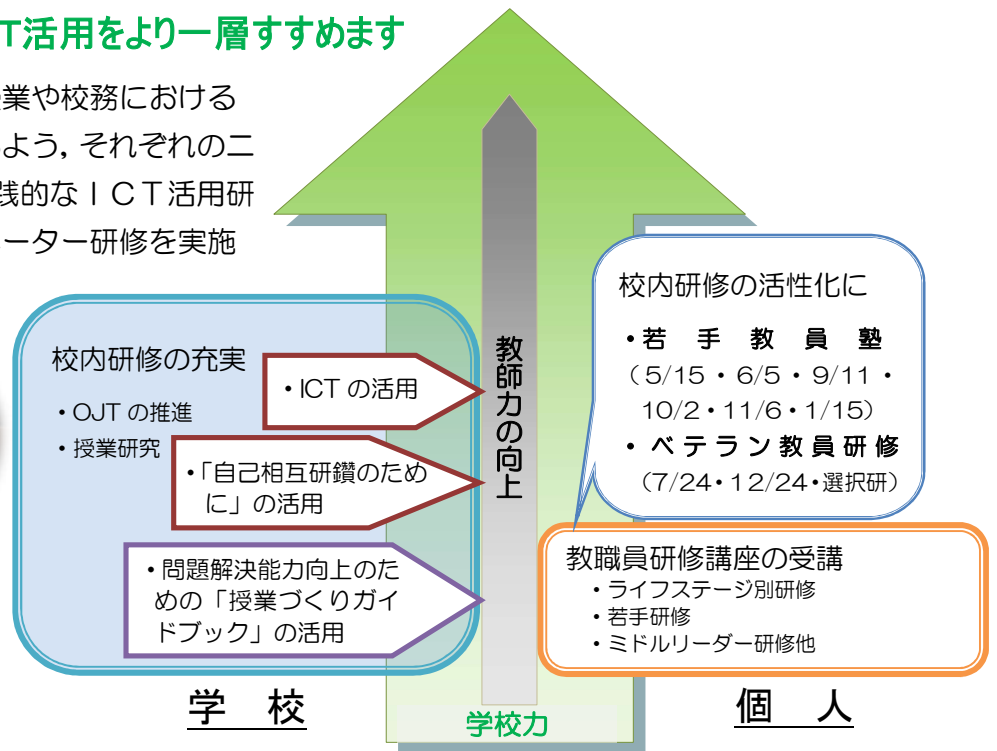
- ① 「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック」についての共通理解をはかります。
- ② 5つのプロセスを位置づけた授業づくりをすすめ、授業改善をはかります。
- ③ 教育実践研究推進校区及び問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック活用推進協力校の取り組みを支援するとともに、その取り組みを広く市内教職員に知らせます。



3

授業や校務へのICT活用をより一層すすめます

すべての教職員が授業や校務におけるICT活用をすすめるよう、それぞれのニーズに応じて、より実践的なICT活用研修やICTコーディネーター研修を実施します。



平成27年度 重点事業

教育支援課 特別支援教育・相談グループ



「途切れのない支援」を目指し、関係機関と連携しながら特別支援教育を推進していきます。特別支援学級及び通常学級における支援の必要な児童生徒への支援の充実を目指し、校・園内の支援力向上を図っていきます。

また、困り感のある児童生徒やその保護者、関係教職員と教育相談を行い、不応状態の改善や不登校児童生徒の学校復帰を目指します。

1 校・園内特別支援教育推進体制の充実

① 特別支援学級の運営改善及び担任の授業力向上

- ・ 教育課程編成や指導方法の工夫、「個別の教育支援計画」の作成、交流及び共同学習の持ち方等、特別支援学級の運営にかかる研修や支援を充実します。
- ・ 授業研究や訪問支援に教育支援課指導主事が訪問し、特別支援学級担任の授業力向上をバックアップします。

② 通常学級におけるユニバーサルデザインの授業づくり

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒もいきいきと活動に参加し、「楽しい」「わかった」と思える授業づくりを目指します。
- ・ 校・園内の「基礎的環境整備」と「合理的配慮」の充実に向けた取り組みを進めます。

③ 通級指導教室との連携

- ・ 通級指導教室の指導担当者と在籍校担任との連携を密にし、在籍校訪問や懇談会等で指導法を共有することにより、支援の充実を図ります。
- ・ 通級指導教室の授業公開等を通して、「ことばの教室」や「ほっとルーム」における具体的な指導について研修の機会を設けます。

2

学校不適應（問題行動や不登校等）への支援の充実

① 教育支援課での教育相談

- ・ 不登校や発達に課題のある子ども及び保護者への支援として、相談員やセラピストがカウンセリングやプレイセラピー等を行います。



② 巡回教育相談

・ 小学校 臨床心理士 長谷川時三さん

不登校リスク群児童や学校での不適應がある児童について、授業の様子を観察したりケース会議に参加したりして、支援の方向性や方法を先生方と共に考えます。

・ 中学校 宇部フロンティア大学臨床教授 小栗正幸さん

全中学校に年間2回訪問します。不適應状態等の生徒について、見立てや具体的な支援方法をアドバイスします。

③ 適應指導教室【わくわく教室 ふれあい教室】

・ わくわく教室（小学生）

プレイセラピーを終えた後の児童が、集団活動を通して友だちとの関わり方などを身につけていきます。

・ ふれあい教室（中学生）

保護者や本人への教育相談やカウンセリング、小集団による学習活動や体験活動等、学校復帰に向けての支援や、社会的自立を促す支援を行います。



④ ^{イエスネット} YESnet（四日市早期支援ネットワーク）

- ・ 子どもたちの心の病気の早期発見・早期支援のために、教育委員会・こども未来部・保健所・医療機関がネットワークを結んで取り組んでいる事業です。
- ・ 子どもに「こころの不調」のサインが見られたら、教育支援課まで相談してください。具体的な支援の方法や医療等の連携の必要性についてアドバイスします。
- ・ YESnet スタッフが学校へ出向き、こころの健康についての出前授業や出前研修を行います。